

## 「イースターおめでとう」

2022年04月18日

イースターおめでとうございます。妻がロンドンに語学研修で行った時、旧東ドイツのケムニッツに住むイネス・シュースターさんと出会い、以来、20年を越す交流が続いている。彼女は我が家に二度来られた。私たちも彼女宅を訪ねた。彼女の案内で、マルチン・ルターが若い時に過ごしたアウグスティヌス修道院で一泊した。また、ドレスデンの国立歌劇場のコンサートにも行くことができた。そして、彼女が尊敬するヘルマン・ウィンデ牧師とお会いする機会を得た。牧師は旧東ドイツで、教会の指導的立場にあり、当時の苦勞を聞かせてくださった。牧師とも毎年、イースターとクリスマスにはカードを交換している。今年も、日本語で挨拶部分を書いたカードを送ってくださったので、紹介したい。

〈親愛なる秋吉隆雄牧師・悦子夫人

イースターは私たちの大きな、変らない喜びであり、現在の私たちのこんなにも悲しく酷い状況にあって、私たちの希望と慰めでもあります。即ち、コロナ感染症の世界的感染爆発があり、また、非常の多くの死者、悲しみと恐怖をもたらしている恐ろしい戦争がウクライナで起きています。イースターは、よみがえられた主が私たちに出会い、守り、そして、いつの日か、もはや、死も、悲しみも、嘆きもない神の国へと、導いてくれる(黙示録 21:4)と告げてくれるのです。

私は子どもの時、第二次世界大戦を経験しました。爆撃、火災をくぐり抜けましたが、父と二人の従兄弟を失い、故郷から追い払われ、すべての財産を失いました。ほぼ10歳になった私は母がもしいなくなったら、6歳と2歳の妹の面倒を見る責任があると気づきました。今、これら昔のすべての体験が改めて思い出されます。ですから、現在のウクライナでの戦争がドイツから遠い所で起きているのではないと理解されるでしょう。私は非常に動揺しています。神がすぐにこの戦争を終わらせてくださいますように！神のみが可能です。

お二人とご家族の皆様がお元気で過ごされますように願っています。私の息子、エックハルト・ウィンデ牧師とその妻、三人の孫たちが感染しましたが、感謝すべきことに回復しております。また、娘と、その夫、その一人息子と私は元気しております。お宅の和史さん、妻のるり子さん、孫の共喜さん、結人さんもきっと同様にお元気でありますように。ところで皆さんのお仕事は？

私の属している教会は私の住まいからわずか100メートルの所にありますが、新しい牧師を迎えました。神が牧師を祝福し、適切な言葉と人々との良い関係を常にお与えになるように祈っています。礼拝にはお互いに距離を取って着席し、マスクをしています。けれども、それにもかかわらず、かなりの会員が感染をおそれ、出席していません。私は彼らがこのままではなく、すぐに戻って来るようにと願い、祈っています。

祝福された イースター  
主は、ほんとうによみがえった  
Blessed Easter  
The Lord is risen indeed  
Luke 24:34<sup>1</sup>

Dear Rev. Akiyoshi Takao and dear Mrs. Akiyoshi Etsuko,

Easter – our great and lasting joy, our hope and consolation in view of the situation of our world with such sad and cruel events: the Covid-19-pandemic, the terrible war in Ukraine with so many dead people and so much sorrow at Easter says us: our risen Lord sees us, keeps us, and one day He will guide us to His kingdom, where there “shall be no mourning nor crying nor pain any more” (Revelation 21:4).

さて、私たちはキリストの復活による励ましと力づけを待っています。毎週土曜日にあなたがたと私が祈りにおいて共にあることは、なんとすばらしいことでしょう。敬具、愛をこめて。

ヘルマン・ウィンデ)